

2月1日(水)
平成18年(2006年)

発行所
〒112-0006
東京都文京区小日向4-5-9
コーティングメディア
編集印刷発行人 コーティングメディア
電話 東京 03(5976)5891番
郵便 00120-9-56573番
http://www.coatingmedia.com

Paint & Coatings Journal

ペイント&コーティング ジャーナル



地球と暮らそう
ECO Action 21

地球への愛—
わたしたちの
意思表示です。

日本ペイント

企業ニュース

コア・シェル型 非水シリコンエマルジョン樹脂を開発 大成ファインケミカル

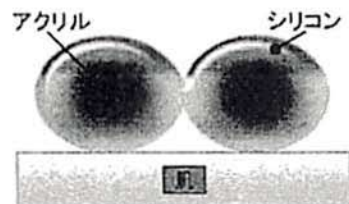
大成化工の子会社である大成ファインケミカルは、シリコンオイル中にシリコンとアクリルのコア・シェル型エマルジョンを形成させた非水シリコンエマルジョン樹脂の開発に成功した。

本品は化粧品皮膚用の素材原料として開発されたもので、これまで指摘されてきた皮膚呼吸性やツツパリ感といった課題をなくし、違和感のないポーラスなコーティング層を形成することが出来る特徴がある。

これまでの樹脂は、皮膚への密着性とコーティング膜の強度を上げるために、粘着力や塗膜間強度を高めた設計を施しており、それが通気性を悪く

し、アレルギー、蒸れ、傷の完治の遅れ、シミの原因となっていた。また化粧品分野では、ツツパリ感があることから用途展開が限られていた。

今回同社が開発した新樹脂は、独自の合成技術法で各コア・シェルエマルジョン自身に密着性を持たせ、各分子



を点接着させることで、強度と密着性を維持しつつ、通気性を持たせることを可能にした。さらにシリコンをコロイド表面に配向。これらにより、皮膚刺激性が低く、耐水性があり、蒸れやアレルギー反応が低い皮膚などの用途に適した素材が完成し、シミの防止や

傷の早期完治に期待出来るとしている。商品名はアクリット「8HVシリーズ」として販売し、1月15日より100g当たり1,000~5,000円で有償サンプルを提供している。

用途としては、スキンケア、医療関連の肌荒れ防止や経皮吸収剤の皮膚保護剤などが想定される。同社は「機能的物質を内包させるカプセル化技術を有しているため、コア・シェルの構成変更や内包剤の変更など顧客ごとの設計も出来る」とし、化粧品・医療分野以外への応用展開も積極的に図っていきたいとしている。

やさしい技術総説
塗料の性格と機能
21世紀への知識と応用
日本ペイント著 監修・研究開発本部
問い合わせ:コーティングメディア ☎03(5976)8891

2006年2月1日 「コア・シェル型非水シリコンエマルジョン樹脂を開発」
ペイント&コーティングジャーナルに掲載